

令和 7 年 3 月 1 日

成安造形大学

学長 小寄善通

教学面での生成 AI 取扱い基本方針

急速に発展する生成 AI は、芸術やデザインの分野でも様々な形で取り入れられ始めており、決して無視することができない。一方で生成 AI はまだ発展途上にあり、セキュリティ上の危険性や倫理的課題も数多く残されている。大学における学修は学生が主体的に学ぶことが本質であり、生成 AI の出力をそのまま用いるなど学生自らの手によらずに課題等の成果物を作成することは、学生自身の学びを深めることに繋がらないという大前提のもと、本学では生成 AI が急速に発展している状況を踏まえて、学生および教職員に対して以下の基本方針を定める。

1. 教職員は、個々の授業の到達目標に基づく指導と評価(課題)の趣旨を明確にした上で、学生へ生成 AI の使用を認めることができる。
2. 教職員は、個々の授業の到達目標に基づく指導と評価(課題)の趣旨を明確にした上で、学生へ生成 AI の使用を禁止することができる。
3. 学生および教職員は、生成 AI の使用にセキュリティ上の危険性や倫理的課題があることなど、デメリットやリスクを十分理解した上で、それらに細心の注意を払って使用する。

本学は、今後広がる AI と共生する社会において、生成 AI の使用について適切な判断ができる人材を育成し、本学の教育理念である「芸術による社会への貢献」を実践する。

以上